

未来へのチカラを
つなぐプロジェクト

第10回 セディア財団 全国小学生

SE DIA
Foundation

「わたしたちのくらしと水」 かべ新聞コンテスト2024

入賞作品集

しらべてみよう! /

たいせつな水のこと



主催：公益財団法人 セディア財団

後援：農林水産省／全国市町村教育委員会連合会／全国連合小学校長会／
全国小学校社会科研究協議会／全国小学校理科学研究協議会／
日本初等理科教育研究会／全国小学校教育生活科・総合的な学習教育研究協議会／
全国新聞教育研究協議会／全国小中学校環境教育研究会

も く じ

主催者からのあいさつ	1
審査委員長総評	2
応募規定／経過報告	3
審査結果	4
入賞作品ご紹介	6
応募校一覧	30

主催者からのあいさつ

公益財団法人セディア財団
理事長代理・審査委員 渡 邊 有 祐

このたび、セディア財団では「第10回 セディア財団全国小学生『わたしたちのくらしと水』かべ新聞コンテスト2024」の入賞作品集を発刊することとなりました。本コンテストは、小学生の皆さんに、わたしたちのくらしに欠かすことのできない大切な「水」について調べ、考える機会を持ってもらいたいという想いで、2015年度より開催しております。記念すべき10回目の開催となった今回は、全国の小学校177校から、4,766作品もの力作が寄せられました。共同制作の作品もあるため、制作に携わった児童は5,083名に上ります。

今回は、「くらしと水」というテーマを幅広く捉えた自由研究作品が多く見られました。また、「飲料水」という枠にとどまらず、くらし全体に関わる水の役割について研究した作品も多く、子どもたちが水に対して高い関心を持っていることが伝わってきました。今回のコンテストで、子どもたちが、施設見学や水質調査、聞き取り調査など実際の体験を取り入れながら、主体的に探究活動を進めている様子が伺えました。

また、かべ新聞ならではの特徴を活かし、写真やイラストを効果的に使用したり、ランキングやデータを交えて分かりやすく構成するなど、読み手を引き付ける工夫が随所に見受けられました。本コンテストを通じて得た経験や知識が、これからの生活や学びに役立つことを心から期待しております。

水はわたしたちにとって大切な資源です。わたしたちのくらしに必要な不可欠な水の大切さを、次世代を担う子どもたちに伝えるため、これからも本コンテストを継続してまいります。

今後ともご支援、ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



応募規定

タイトル

第10回 セディア財団 全国小学生
「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト2024

テーマ

「わたしたちのくらしと水」
<テーマ例>
○キレイな水でつくるおいしい野菜
○調べてみよう！ 森と水の関係
○お米をつくるのにどれくらいの水が必要？
○井戸ってなに？ むかしの水とくらし
○つたえよう！ 水の大切さ
○学校や家で使う水はどこからくるのかな？
○世界の国の水事情
○水の不思議を探してみよう
○わたしたちの地域の水じまん
○SDGsとわたしたちのくらしと水
○水と環境のつながりを調べてみよう
○水を通して考える自然の恵みと災害 など

応募方法

- 応募作品には、次の事項を明記した応募票をはがれないように貼付してください。
○作品の題名 ○学校名 ○担当教諭
○氏名(グループの場合は全員の氏名) ○学年
○連絡先(参加賞などの発送先) ○連絡先電話番号
○連絡先住所 ○保護者などの支援について
- 作品は新聞形式のもので、もぞう紙・学習新聞用紙・はがき新聞など、大きさは自由とします(タテ書き・ヨコ書き自由)。
- 画材は自由で、カラーまたはモノクロも問いません。また、イラスト・マンガ・写真など自由に入れてください。
- 手書きまたはパソコン・タブレットを使って制作することもできます。
※パソコンまたはタブレットで制作した作品を応募する場合は、プリンターで出力のうえ郵送、またはWEBサイトにデータをお送りください。

対象学年

小学1年生～6年生

締め切り

2024年11月6日(水)(当日消印有効)

発表

2025年1月予定(主催者のホームページ)

賞と賞品

- 個人・グループ表彰
 - 最優秀賞：1作品
賞状、楯、副賞(図書カード5万円分)
 - セディア財団特別賞：1作品
賞状、楯、副賞(図書カード3万円分)
 - 優秀賞：4作品
賞状、楯、副賞(図書カード2万円分)
 - 準優秀賞：10作品
賞状、副賞(図書カード5千円分)
 - 佳作：20作品
賞状、副賞(図書カード千円分)
 - 努力賞：65作品程度
賞状、副賞(図書カード5百円分)
- 学校表彰(学校または学年として優秀な作品を多数応募した学校を表彰)
学校優秀賞：1校
賞状、楯、副賞(図書カード5万円分)
学校賞：5校程度
賞状、副賞(図書カード3万円分)
- 参加賞
応募者全員に記念品

経過報告

作品募集

全国の小学校10,000校に対し、2024年6月14日にご案内チラシ・ポスター・セディア財団活動報告書[Mizu Mirai(ミズミライ)]などの発送を開始するとともに、セディア財団WEBサイトに募集案内をアップ。また、各後援団体への募集協力依頼と、事務局(プラスエム)ネットワークを通じて、全国の小学校に応募を呼びかけました。

応募総数

2024年11月6日(水)の作品応募締め切り日までには、全国の小学生から4,766作品(177校)もの力作が集まりました。

一次審査

【開催日】 2024年11月14日(木)
最終審査会ノミネート作品(40作品)と、努力賞候補作品の選考を行いました。

最終審査会

【開催日・場所】 2024年12月10日(火) 渡辺パイプ株式会社 本社
一次審査で絞り込まれたノミネート作品(40作品)について厳正な審査を行い、各賞を決定しました。
※一次審査で選ばれた「努力賞」候補作品を承認しました。
※内規に従って選考された学校優秀賞(1校)および学校賞(5校)を承認しました。

最終審査委員 (順不同・敬称略)

<審査委員長> 澤井 陽介	大妻女子大学家政学部児童学科教授
<審査委員> 石井 正広	全国小学校社会科研究協議会会長(新宿区立四谷小学校長)
飯田 秀男	全国小学校理科研究協議会会長(板橋区立金沢小学校長)
清水 仁	全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長(新宿区立落合第三小学校長)
菅野 茂男	全国新聞教育研究協議会理事長(前 世田谷区立船橋希望中学校長)
関口 寿也	全国小中学校環境教育研究会会長(多摩市立連光寺小学校長)
渡邊 有祐	公益社団法人セディア財団理事長代理(渡辺パイプ株式会社 経営企画ユニットリーダー)

審査委員長総評

大妻女子大学家政学部児童学科児童教育専攻
同大学院 人間文化研究科 人間生活専攻教授

澤井 陽介

小学校の社会科では、第4学年の内容に「飲料水、電気、ガス」のうちから選択して、それらを提供する事業の働きを学ぶ内容があり、多くの学校で飲料水を選択して学んでいます。そのため、本コンテストへの応募も4年生が一番多くなっています。その一方で、今年も1年生から6年生まで幅広い年齢の応募があり、また飲料水に限らず「くらしと水」というテーマを広く捉えた自由研究作品も多く、本コンテストの存在が水に対する子どもたちの興味・関心を広げ、学びをつなげているのではないかと感じます。

日本は水道の蛇口から出る水を直接飲める数少ない国のひとつです。そもそも地球上に存在する水のほとんどは海水であり、わたしたちが生活に使える水は全体の0・01%とされています。かべ新聞づくりを通して多くの子どもたちがその貴重さにも気づいてくれていることが伺えます。

応募作品の中には、施設の見学、水質調査、聞き取り調査など具体的な体験を伴う活動をとめたものも多く、主体的に探究活動を進めている様子が分かります。また、かべ新聞という特徴を活かして、見出しを工夫したり、写真やイラスト、ランキングデータなどを盛り込んで楽しくレイアウトしたりして、読み手を引き付けているものも多く見られます。

これからも本コンテストへの応募を通して、子どもたちにとって、自分たちのくらしに恩恵を与えてくれる豊かな水の存在や、安全な飲料水を安定的に供給してくれる事業に関わる人々のありがたさを実感する機会になること、そして未来を生きる力としての課題追究力や情報活用能力、表現力などが豊かに養われていく機会になることを心より祈念します。



努力賞(64作品)				
都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
宮 城 県	聖ドミニコ学院小学校	2	櫻井 逸翔	水とマンホール新聞
神 奈 川 県	横浜市立青木小学校	2	濱町 玲奈	水と生き物新聞
埼 玉 県	桶川市立桶川西小学校	3	藤網 菜	ダムと私たちの大切な水新聞
東 京 都	中野区立谷戸小学校	3	浅利 瑞樹	わが家の節水じっけん新聞
神 奈 川 県	横浜市立相沢小学校	3	浅伯 一乃	世界中の人にキレイな水をとどけよう！！
神 奈 川 県	日本大学藤沢小学校	3	森井 彩佳	サステナブルな世界のために
北 海 道	旭川市立北鎮小学校	4	市川 銀之助	大切な水新聞
北 海 道	旭川市立北鎮小学校	4	白幡 莉子	水道新聞
山 形 県	山形市立千歳小学校	4	上妻 紗雪・遠藤 匠真 遠藤 花香・金田 直記	社会科新聞
山 形 県	酒田市立平田小学校	4	小田 葵都・齋藤 蓮星 田中 陽茉莉	リバー
山 形 県	酒田市立平田小学校	4	大谷 薫・澁谷 和磨 菅沼 月翔・鈴木 都大	にいだ川
栃 木 県	真岡市立真岡小学校	4	佐々木 奏	守ろう！水の惑星新聞
群 馬 県	太田市立藪塚本町南小学校	4	山本 珠々	下水道の中へゴー！！
埼 玉 県	星野学園小学校	4	飯野 福也	肥溜めについて詳しい新聞
埼 玉 県	星野学園小学校	4	青木 翠一乃	みんなの水
埼 玉 県	星野学園小学校	4	浅見 空花	あたり前じゃないきれいな水
埼 玉 県	さいたま市立城北小学校	4	高橋 すず	体の水新聞
埼 玉 県	草加市立栄小学校	4	吉田 杏寿	私と水の命新聞
埼 玉 県	和光市立北原小学校	4	三浦 すみれ	私たちの大切な水新聞
埼 玉 県	桶川市立桶川西小学校	4	倉田 駿	四国ため池新聞
千 葉 県	浦安市立浦安小学校	4	浅野 ひまり	農業用水新聞
東 京 都	早稲田大学系属早稲田実業学校初等部	4	柿沼 花蓮	水とSDGs
東 京 都	国立学園小学校	4	山田 糸子	異界と水新聞
東 京 都	国立学園小学校	4	森本 和弥	水が出るのは当たり前じゃない
東 京 都	国立学園小学校	4	野田 櫻子	私達のくらしと水の旅
神 奈 川 県	横浜市立駒岡小学校	4	小林 隼大	野島新聞
神 奈 川 県	横浜市立駒岡小学校	4	小田 伊織	小学生新聞
神 奈 川 県	横浜市立大正小学校	4	大島 康太郎	ぼくたちのくらしと水 水を利用した生活
神 奈 川 県	相模原市立清新小学校	4	栗山 侑和	ダム新聞
神 奈 川 県	相模原市立清新小学校	4	糸原 晃汰	おせん新聞
新 潟 県	新潟市立東中野山小学校	4	鷲尾 俐乃	水の新聞
新 潟 県	長岡市立黒条小学校	4	黒崎 颯太・中野 結生 吉野 尊	ウォーターニュース
新 潟 県	長岡市立黒条小学校	4	吉仕 愛結・土田 煌太郎 頓所 慧人・渡邊 雄悟	ドリーム新聞
富 山 県	小矢部市立蟹谷小学校	4	大谷 一翔・川越 凰花 中村 蓮・西中 志織 長谷川 将太・畑 栄志	浄水と水の大切さ新聞
石 川 県	金沢市立泉小学校	4	伊川 航太	きれいな水新聞
石 川 県	金沢市立泉小学校	4	竹森 玲美	水は大切新聞
石 川 県	金沢市立泉小学校	4	市川 希実	水はどこへ新聞
石 川 県	金沢市立泉小学校	4	上田 希望	町の水新聞
福 井 県	坂井市立兵庫小学校	4	高橋 夏奈	くらしをささえる水新聞
福 井 県	坂井市立兵庫小学校	4	水野 菜那	水にかんする新聞
愛 知 県	一宮市立大和西小学校	4	伊藤 航輝・伊藤 奈緒 河尻 茉子・永山 仁翔 濱田 空蘭・森 富美	節水新聞
京 都 府	京都市立山ノ内小学校	4	杉本 理珠	清潔な水の工夫
京 都 府	与謝野町立石川小学校	4	藤田 類稀亜	石川浄水場新聞
大 阪 府	大阪市立加美南部小学校	4	森 結之介	川の水の利用
大 阪 府	大阪教育大学附属平野小学校	4	安宅 理乃	くらしに必要な水
大 阪 府	阪南市立朝日小学校	4	石橋 杏唯・大津 楓花 仲 莉央奈・前田 大地 宮本 佳奈	水とくらし新聞
兵 庫 県	神戸市立山の手小学校	4	迫田 紗奈	水の大切さと節水新聞
兵 庫 県	神戸市立山の手小学校	4	小野寺 華	水と人新聞
兵 庫 県	神戸市立山の手小学校	4	白濱 凜	水のひみつ
兵 庫 県	仁川学院小学校	4	室谷 智海	水のとどく国ととどかない国のちがいは何だろう？
広 島 県	広島大学附属三原小学校	4	山本 二葉	ぼくたちの町の水道料金
広 島 県	広島大学附属三原小学校	4	小島 悠輔	トイレと水
広 島 県	広島大学附属三原小学校	4	千葉 心海	宇宙と水
福 岡 県	福岡市立香椎小学校	4	浦松 壮旭	水がとどくことに感しゃしよう新聞
埼 玉 県	草加市立栄小学校	5	青木 陽椰	わたしの水道新聞
東 京 都	足立区立東洲江小学校	5	近藤 百合香・藤田 莉帆	「世界の水問題」
東 京 都	町田市立鶴間小学校	5	大久保 由良	SDGsはつながっている 「水の連鎖」ハガキ新聞
福 岡 県	行橋市立泉小学校	5	坂本 優月	水の性質活躍
埼 玉 県	富士見市立針ヶ谷小学校	6	澤村 優衣	みんなでLet's節水新聞
千 葉 県	松戸市立東松戸小学校	6	山本 龍汰	わたしたちのくらしと水
神 奈 川 県	横浜市立相沢小学校	6	高橋 花帆	わたしたちのくらしと水害
神 奈 川 県	川崎市立川中島小学校	6	本澤 一輝	水調べ新聞
滋 賀 県	甲賀市立土山小学校	6	木村 凌太郎	ウォーターニュース
大 阪 府	大阪市立高倉小学校	6	中村 結乃	みんな乗ってや〜ワクワクSDGsトレイン新聞

学校優秀賞(1校)	
都道府県	学校名
兵 庫 県	神戸市立山の手小学校

学校賞(5校)	
都道府県	学校名
新 潟 県	新潟市立東中野山小学校
福 井 県	福井市啓蒙小学校

大 阪 府	大阪市立常盤小学校
大 阪 府	大阪市立長居小学校
大 阪 府	大阪教育大学附属平野小学校

審 査 結 果

最優秀賞(1作品)

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
埼 玉 県	星野学園小学校	4	森山 栄治	水道管交換大作戦

セディア財団特別賞(1作品)

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
福 岡 県	北九州市立則松小学校	4	仲川 綾人	ボクと水道の守り神新聞

優秀賞(4作品)

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
宮 城 県	聖ドミニコ学院小学校	5	奈良 芹香	災害と水新聞
埼 玉 県	桶川市立桶川西小学校	5	林 美咲	軟水、硬水新聞
ド イ ツ	ISR International School on the Rhine	5	石井 咲羽・牛山 陽寿朗 尾内 遥・小林 修眞	ひつじレンジャー通信
埼 玉 県	桶川市立桶川西小学校	6	片山 野々花	水の二つの顔新聞

準優秀賞(10作品)

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
神奈川県	横浜市立日吉南小学校	3	高橋 和奏	おいしい水新聞
神奈川県	日本大学藤沢小学校	3	井手上 晃大	水まるわかり新聞
岩 手 県	花巻市立八重畑小学校	4	佐藤 耀斗・藤原 光里 大金 陽菜乃・晴山 美雨 藤根 涼・晴山 兼慎 大竹 咲愛・米澤 美乃里 小原 愛優・伊藤 陽葵 平松 大和	水学習新聞
山 形 県	天童市立天童中部小学校	4	岩田 凜心	おいしい水新聞
埼 玉 県	星野学園小学校	4	前田 志穂架	水の旅新聞
大 阪 府	大阪教育大学附属平野小学校	4	造田 紗那	大阪水新聞
埼 玉 県	狭山市立奥富小学校	5	横田 汐夏	昔と今で全然ちがう!! 新化した水とのくらし
埼 玉 県	桶川市立桶川西小学校	5	関 ふたば	水が電気になる!? 水のエネルギー 水車新聞
神奈川県	横浜市立青木小学校	5	中村 有里	宝の水新聞
神奈川県	横浜市立仏向小学校	6	金子 翔二郎	速報! 緑のダムNEWS!

佳 作(21作品)

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
宮 城 県	聖ドミニコ学院小学校	1	阿部 心咲	おフロの水はどこへいくの?
神奈川県	横浜市立相沢小学校	2	佐藤 晴仁	ダムのはたらき
埼 玉 県	草加市立栄小学校	3	佐々木 優芽	水とくらし新聞
神奈川県	日本大学藤沢小学校	3	山口 明莉	下水道新聞
北 海 道	芦別市立上芦別小学校	4	小川 陽向・野崎 伸実	水たび新聞
東 京 都	国分寺市立第十小学校	4	渡部 笑佳	国分寺市災害防止新聞
東 京 都	早稲田大学系属早稲田実業学校初等部	4	井口 悠五	～世界に誇る～ 「浄水場」新聞
東 京 都	国立学園小学校	4	小泉 理子	水は宝物しんぶん
愛 知 県	名古屋市立高見小学校	4	加藤 楓	浄水場ってなあに?
京 都 府	南丹市立園部第二小学校	4	井尻 智尋	これで安心! 水のこまったかいけつ新聞
大 阪 府	大阪教育大学附属平野小学校	4	仙北屋 七之助	安心おいしい水のヒミツ
大 阪 府	大阪教育大学附属平野小学校	4	猪岡 晃希	飲める水になるまで 大阪市水道記念館柴島浄水場へ行ったら。
兵 庫 県	神戸市立山の手小学校	4	岩永 麗生	大切さ新聞
兵 庫 県	神戸市立山の手小学校	4	竹内 杏	水のふしぎ新聞
兵 庫 県	仁川学院小学校	4	阿部 心咲	きれいな水にかんしゃをこめて
福 岡 県	福岡市立香椎小学校	4	川村 佳暖	Cherish Water 私たちの大切な水
沖 縄 県	沖縄市立高原小学校	4	森永 結菜	水は命の宝新聞
神奈川県	平塚市立みずほ小学校	5	山添 夏芽	日本の水と世界の水
神奈川県	藤沢市立六会小学校	5	小島 実紗	WATER新聞
香 川 県	高松市立亀阜小学校	6	藤田 陽向	唯一無二の水
福 岡 県	糸島市立前原南小学校	6	藤山 汰一	ろ過調査新聞

最優秀賞

「水道管交換大作戦」

星野学園小学校 四年

森山栄治

受賞者の声

夏休み、おじいちゃんと現地に取材に行き、たくさんのことを学びました。その時のワクワクとした気持ちや、伝えたい気持ちを新聞記者になったつもりで、何度も何度も書き直し仕上げました。たましいを込めて書いた新聞が賞を取れて、とてもうれしいです。

選評

水道管を知っている人はいても、水道管の交換作業を見た人はいないでしょう。ましてや、浄水場の水中で行われている水道管の交換に関する記事は、おじいちゃんへの取材なしには書けません。慎重に水中で作業する様子が写真や文章からよく伝わってきますし、小見出しや豆知識も新聞の質を高めています。

指導の先生から

楽しいことが大好きで、一生懸命な栄治さん。栄治さんの「好き」「知りたい」「伝えたい」という想いが、このように形になり、それを受け取ってもらえたことをとてもうれしく思います。本やインターネットで調べるだけでなく、実際に足を運び、目で見て、感じたことをまとめているところが栄治さんらしかったです。本当におめでとう!!



表彰式は最優秀賞受賞者が在籍する学校を主催者が訪問して行いました。

[illegible]

セディア財団特別賞

「ボクと水道の守り神新聞」

北九州市立則松小学校 四年

仲川綾人

受賞者の声

入賞と聞いて、びっくりしました。実際に、穴生浄水場へ行つて見学をした時に、水道のまわりにいる金魚が水道の守り神だということを知りました。新聞をつくりながら、水道や守り神の金魚のことをみんなに知ってほしい、写真やグラフを使って分かりやすく伝える工夫をしました。入賞できて、とてもうれしかったです。

選評

「水道水は安全なもの」と誰しもが思っています。浄水場から送り出す水の品質チェックは当然のことですが、浄水する前の取水を金魚などの生き物を使って水質管理しているという特ダネを見事に新聞にまとめています。その技術が海外で活用されるという記事により内容に厚みが出ています。

指導の先生から

仲川さんが特別賞を受賞したと聞き、とても驚きました。日々の努力を惜しまず、研究熱心な姿を見ていたので、とてもうれしく思います。身近な水の大切な役割に気づき、学び続ける仲川さんに、心よりお祝い申し上げます。



優秀賞

「災害と水新聞」

聖ドミニコ学院小学校 五年

奈良
芹香

受賞者の声

夏休みに参加した水道フェアで、仙台市水道局の職員の方々から災害に対する取り組みや能登での応援活動のことなど、たくさんお話を聞かせていただき、この新聞を完成させることができました。新聞づくりを通して、社会でも個人でも日頃から備えておくことがいかに大切かということを感じました。



選評

宮城県の防災意識の高さを強く感じます。災害対策の観点から、災害時の給水の仕組みや停電対策など、さまざまな備えを分かりやすくまとめています。能登半島地震での地道な復旧作業の様子の取材記事も、分かりやすく書けています。

優秀賞

「軟水、硬水新聞」

桶川市立桶川西小学校 五年

林美咲

受賞者の声

この「軟水、硬水新聞」ではたくさんの実験を記事にまとめました。特に力を入れたのが、スライムです。わたしはスライムづくりにはまっていた時があったので、その経験がこの新聞に役立ったことが何よりもうれしいです。受賞を聞いて、驚きました。そして、来年もみんなが読んで、おもしろいと思ってもらえる新聞をつくりたいなと思いました。



選評

軟水と硬水の特徴に着目したことに加え、その特徴についてさまざまな実験で調べ、調査結果を分かりやすく新聞にまとめることができます。氷実験、スライム実験、絵の具実験の記事を読むと実験してみたいくなります。

受賞者の声

この優秀賞をいただくことができとても光栄です。わたしが書いた新聞で、読む人に水の大切さや、その反面おそろしさがあることを知ってもらえればうれしいです。また、わたしが伝えたい水の二つの顔のことを読んだ後に、さらに水のことにについて深く考えてもらえれば幸いです。

優秀賞

桶川市立桶川西小学校 六年

「水の二つの顔新聞」

片山野々花

選評

飲む水や水害、津波について伝えたいことをまとめています。模造紙の大きさを活かしたクイズもうまくつくられています。題字からも伝えたいことが分かるように表現方法を工夫しているところも素晴らしいです。



優秀賞

「ひつじレンジャー通信」

ISR International School on the Rhine 五年

石井咲羽・牛山陽寿朗
尾内遥・小林修眞

受賞者の声

わたしたちは、ライン川の「ひつじレンジャー」の活躍を紹介しました。デュッセルドルフ市らしい、環境にやさしい取り組みだと思いました。ライン川は9つの国を流れています。ライン川の安全と美しさを守るため、他の国ではどのような取り組みをしているのか知りたいです。



選評

海外からの初めての応募になります。ライン川の洪水を防ぐ遊水池の働きと、遊水池を守るためにひつじを飼っていることがつながっていき、新聞名の「ひつじレンジャー」の意味がだんだん分かってくる構造が素晴らしいです。



選 評

パソコンを上手に活用した読みやすいかべ新聞です。浄水場見学、世界の水事情、昔の生活から、水の大切さをよく伝えていいます。

準優秀賞

「水学習新聞」

花巻市立八重畑小学校 四年

佐藤耀斗・藤原光里・大釜陽菜乃
晴山美雨・藤根涼・晴山兼慎
大竹咲愛・米澤美乃里・小原愛優
伊藤陽葵・平松大和

準優秀賞

「おいしい水新聞」

横浜市立日吉南小学校 三年

高橋和奏

選 評

おいしい水について、調べるだけでなく、水道水の温度などを変えて、水のおいしい飲み方も実際に確かめているところがよいと思います。



選 評

おいしい水について調べたアンケートの結果や、浄水場や浄化センターの比較などを、効果的な見出しと記事、レイアウトで表しています。

「おいしい水新聞」

天童市立天童中部小学校 四年

岩田凜心

「水まるわかり新聞」

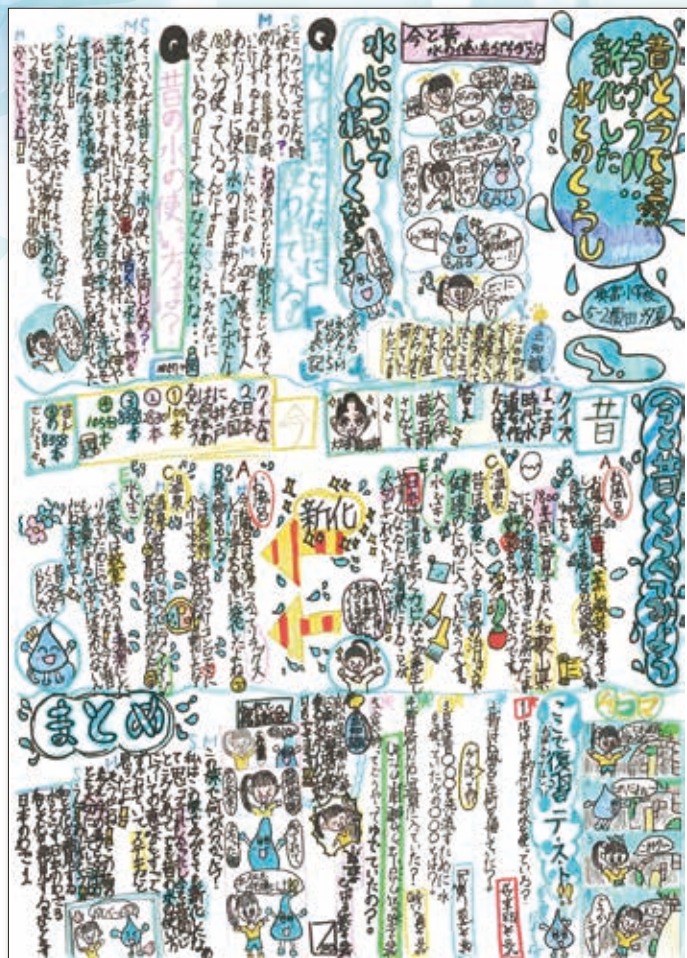
日本大学藤沢小学校 三年

井手上晃大

選 評

読む人を引き付ける呼びかけ調の見出しや、図、グラフを使った説明がとても分かりやすいです。読みやすいレイアウトの新聞です。





選評

「新化」という造語や、筆者がタイムスリップして昔と今の水の使い方を比べているところに、読む人を引き付ける工夫があります。

準優秀賞

「昔と今で全然ちがう!!
新化した水との暮らし」

横田 汐夏

狭山市立奥富小学校 五年



選評

見学をした体験を入れながら、水道水が届くまでをまとめています。下水処理については、図や写真を使って分かりやすくまとめています。

準優秀賞

「水の旅新聞」

前田 志穂架

星野学園小学校 四年



選評

水車について調べたことをきっかけに、体験したことをもとにして、エネルギーとしての水をまとめているところがよいと思います。

「水が電気になる!?
水のエネルギー 水車新聞」

関ふたば

桶川市立桶川西小学校 五年



選評

住んでいる地域の水道について調べたことや、伝えたいことを年表やクイズに入れたら新聞にまとめていると思います。

「大阪水新聞」

造田 紗那

大阪教育大学附属平野小学校 四年

準優秀賞

「宝の水新聞」

横浜市立青木小学校 五年

中村有里

選評

水についてさまざまな角度から調べたことを「宝の水」という言葉でまとめています。Q&Aの形で伝えることで、楽しい紙面になっています。



佳作

「おフロの水はどこへいくの？」

聖ドミニコ学院小学校 一年

阿部心咲

選評

水道フェアへの参加をきっかけに汚水処理や水道水がどこから来るのかに興味を持ち、東日本大震災からの再建についてもまとめています。今後の学びの発展がとても楽しみです。



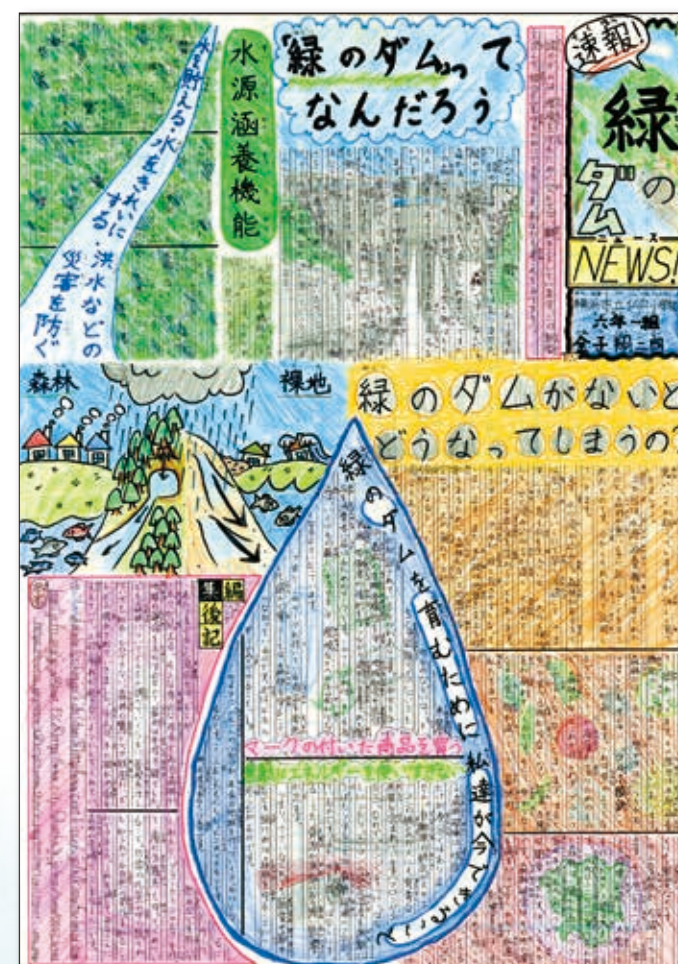
「速報！ 緑のダムNEWS!」

横浜市立仏向小学校 六年

金子翔二郎

選評

森林について興味を持って調べたことをもとにして、緑のダムを守るための取り組みについてさまざまな角度からまとめています。



「ダムのはたらき」

横浜市立相沢小学校 二年

佐藤晴仁

選評

ダムを訪れ、目と足で確かめたことを記事にしていることがよく伝わってきます。感想（編集後記）を入れるとさらに感動が伝わります。



佳作

「水とくらし新聞」

草加市立栄小学校 三年

佐々木 優芽

選評

日常生活で使用する水の用途を順位付けて分かりやすく記しています。節水の工夫についても調べてまとめており、水を大切に使う意識につながる新聞になっています。



佳作

「水たび新聞」

芦別市立上芦別小学校 四年

小川 陽向・野崎 伸実

選評

見出しの言葉が「読んでみよう」という気持ちをかきたてます。ダムと同様、訪れた浄水場の名前があると「行ってみたい」という人が増えると思います。



「下水道新聞」

日本大学藤沢小学校 三年

山口 明莉

選評

水再生センターの見学を通して、その仕組みを理解しまとめています。下水道に流す時に気を付けたいことを記し、学びを活かしています。



「国分寺市災害防止新聞」

国分寺市立第十小学校 四年

渡部 笑佳

選評

住んでいる地域の災害防止、地下水保全策の「雨水浸透ます」を、写真や図、説明を使って分かりやすく紹介することができています。



佳作

「世界に誇る」 「浄水場」新聞

早稲田大学系属早稲田実業学校初等部 四年

井口悠五

選評

見学した浄水場の仕組みの中で、特に浄水処理にスポットを当て、詳しく調べてまとめています。自らの疑問を職員の方にインタビューした探究活動が素晴らしいです。



佳作

「浄水場ってなあに？」

名古屋市立高見小学校 四年

加藤楓

選評

色分けされた上手なイラストが、分かりやすい新聞のアクセントになっています。見出しの大きさやレイアウトを工夫すると魅力が倍増すると思います。



「水は宝物しんぶん」

国立学園小学校 四年

小泉理子

選評

蛇口からの水は、豊かな自然と多くの人の手によってきれいに保たれていることがよく分かります。上手できれいなイラストも効果的です。



「これで安心！ 水のこまったかいけつ新聞」

南丹市立園部第二小学校 四年

井尻智尋

選評

水の有限性を視点として、節水の方法や、ダムや森の役割についてまとめる中で、インフラの整備や災害対策の重要性に気づき、学びが深まっています。



佳作

「安心おいしい水のヒミツ」

大阪教育大学附属平野小学校 四年

仙北屋 七之助

選評

「安心」と「おいしい」の視点から水のヒミツを調査し、図や表、写真を使って、分かりやすく伝えているところがよいと思います。



佳作

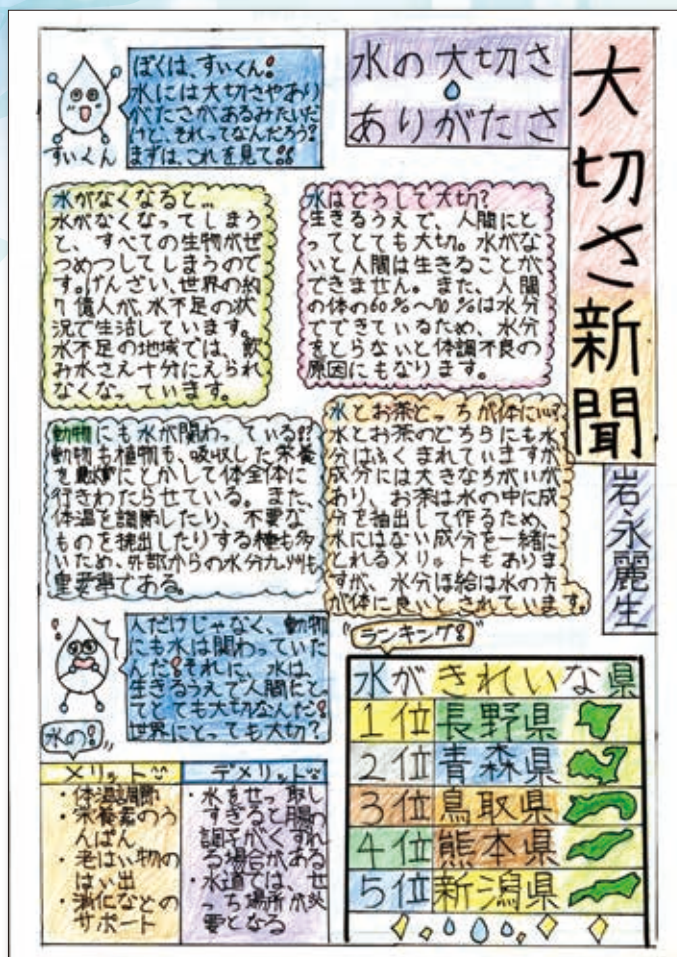
「大切さ新聞」

神戸市立山の手小学校 四年

岩永 麗生

選評

生物や人体における水の重要性をまとめています。水の大切さだけではなく、水がきれいな県や水のデメリットにも言及しているところがポイントになっています。



「飲める水になるまで 大阪市水道記念館柴島浄水場へ行ったら。」

大阪教育大学附属平野小学校 四年

猪岡 晃希

選評

飲める水のことには焦点を当てた新聞づくりはなかなかの着眼点。何度もう過をしてやっとなんて入れた飲料水のありがたみが伝わってきます。



「水のふしぎ新聞」

神戸市立山の手小学校 四年

竹内 杏

選評

グラフやマンガが効果的で、分かりやすい新聞になっています。目を引く見出しに合わせ、縦書きの新聞にするところに見やすくなるでしょう。



佳作

「きれいな水にかんしやをこめて」

仁川学院小学校 四年

阿部心咲

選評

浄水場で取水する水が濁っていることに関心をもち、水循環や家庭で必要な水の量、浄水方法についてまとめ、浄水場の方々に感謝の念を抱いていることが伝わってきます。



佳作

「水は命の宝新聞」

沖縄市立高原小学校 四年

森永結菜

選評

パソコンを上手に使い、図やグラフ、記事が読みやすいようにレイアウトされています。「水は命の宝」と伝える沖縄の水の歴史が印象的です。



「Cherish Water

私たちの大切な水」

福岡市立香椎小学校 四年

川村佳暖

選評

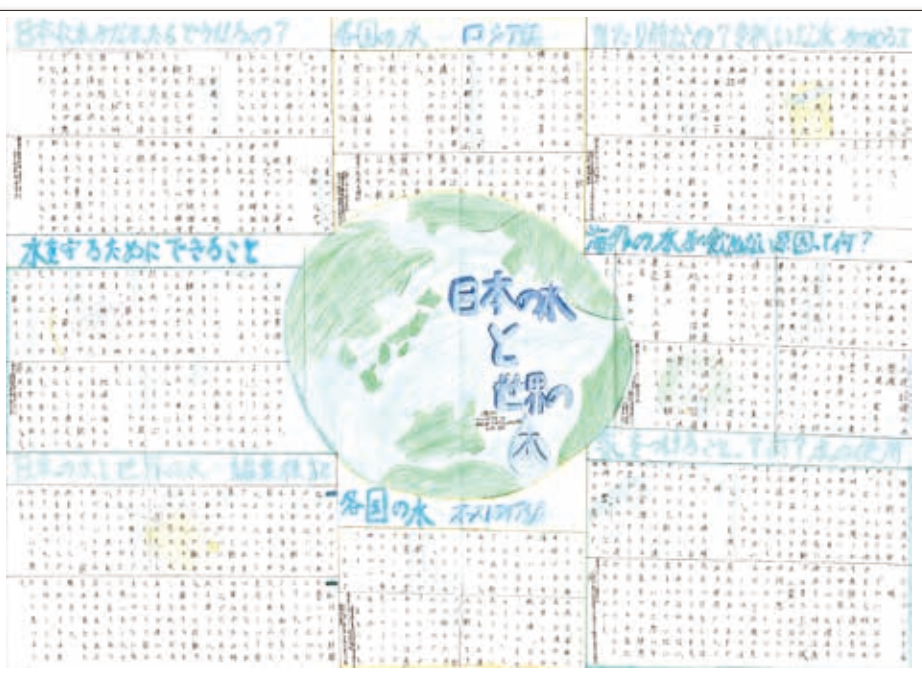
世界の人々が安心して利用できる水についてしっかり調べ、考察をしています。見出しの文字やレイアウトを工夫するとさらに見やすい新聞になると思います。



「日本の水と世界の水」

平塚市立みずほ小学校 五年

山添夏芽



選評

日本と諸外国との水道水の違いについて調べ、日本の水道水の貴重さに気づくことで資源を守っていこうとする気持ちを育むことにつながっています。

佳作

「ろ過調査新聞」

糸島市立前原南小学校 六年

藤山汰一

選評

水をきれいにする方法として「ろ過」の実験を行い、その方法や結果を写真とともに記事にして分かりやすく伝えることができています。



佳作

「WATER新聞」

藤沢市立六会小学校 五年

小島実紗

選評

日本の水の量が世界で10位という驚きと、節水的重要性を分かりやすく読者に呼びかけています。効果的に使われているイラストも素敵です。



「唯一無二の水」

高松市立亀阜小学校 六年

藤田陽向



選評

水不足の原因を、「なぜ」からはじまる論理的な文章で分かりやすく読者に伝えています。「節水をすることでいつかいい結果が返ってくる」と信じたいですね。

応募校一覧

都道府県	学校名
兵庫県	西宮市立夙川小学校
	洲本市立加茂小学校
	赤穂市立高雄小学校
	加西市立富合小学校
	丹波篠山市立西紀南小学校
	丹波市立崇広小学校
奈良県	太子町立太田小学校
	橿原市立耳成西小学校
和歌山県	和歌山市立吹上小学校
	橋本市立高野口小学校
	橋本市立清水小学校
	田辺市立三栖小学校
島根県	海士町立海士小学校
岡山県	岡山市立東囀小学校
	倉敷市立味野小学校
	倉敷市立連島西浦小学校
広島県	広島市立美鈴が丘小学校
	広島大学附属三原小学校
山口県	下関市立垢田小学校
徳島県	石井町立高原小学校
香川県	高松市立亀阜小学校
福岡県	北九州市立松ヶ江北小学校
	北九州市立則松小学校
	福岡市立香椎小学校
	福岡雙葉小学校
	大牟田市立手鎌小学校
	行橋市立泉小学校
	筑紫野市立二日市東小学校
	春日市立白水小学校
	春日市立春日西小学校
	大野城市立大野東小学校
	古賀市立花見小学校
	糸島市立前原南小学校
	粕屋町立粕屋西小学校
	芦屋町立芦屋小学校
佐賀県	武雄市立山内東小学校
	武雄市立武雄小学校
熊本県	熊本市立白坪小学校
	熊本市立城北小学校
大分県	大分市立寒田小学校
鹿児島県	始良市立建昌小学校
沖縄県	沖縄市立高原小学校
ドイツ	ISR International School on the Rhine

都道府県	学校名
石川県	金沢市立泉小学校
福井県	福井市啓蒙小学校
	坂井市立兵庫小学校
山梨県	富士吉田市立下吉田東小学校
長野県	小諸市立千曲小学校
	池田町立会染小学校
	白馬村立白馬南小学校
岐阜県	美濃市立中有知小学校
	各務原市立那加第一小学校
	揖斐川町立谷汲小学校
静岡県	静岡市立玉川小学校
	沼津市立浮島小学校
	湖西市立新居小学校
愛知県	名古屋市立高見小学校
	名古屋市立旭出小学校
	一宮市立大和西小学校
	知立市立知立南小学校
滋賀県	甲賀市立土山小学校
京都府	京都市立鷹峯小学校
	京都市立北白川小学校
	京都文教短期大学付属小学校
	京都市立山ノ内小学校
	福知山市立上川口小学校
	南丹市立園部第二小学校
	木津川市立梅美台小学校
	与謝野町立石川小学校
大阪府	大阪市立高倉小学校
	大阪市立阿倍野小学校
	大阪市立常盤小学校
	大阪市立長居小学校
	大阪教育大学附属平野小学校
	大阪市立加美南部小学校
	堺市立三原台小学校
	高槻市立高槻小学校
	寝屋川市立池田小学校
	河内長野市立川上小学校
	摂津市立烏飼北小学校
	東大阪市立英田南小学校
	阪南市立朝日小学校
	太子町立磯長小学校
兵庫県	神戸市立稗田小学校
	神戸市立多井畑小学校
	神戸市立山の手小学校
	神戸市立押部谷小学校
	尼崎市立立花西小学校
	仁川学院小学校

都道府県	学校名
東京都	世田谷区立明正小学校
	中野区立谷戸小学校
	練馬区立田柄第二小学校
	練馬区立向山小学校
	足立区立東洲江小学校
	足立区立平野小学校
	町田市立七国山小学校
	町田市立鶴間小学校
	早稲田大学系属早稲田実業学校初等部
	国分寺市立第五小学校
	国分寺市立第十小学校
	国立学園小学校
神奈川県	横浜市立駒岡小学校
	横浜市立青木小学校
	横浜市立仏向小学校
	横浜市立日吉南小学校
	横浜市立大正小学校
	横浜市立山下みどり台小学校
	横浜市立長津田第二小学校
	横浜市立上瀬谷小学校
	横浜市立相沢小学校
	横浜市立瀬谷さくら小学校
	横浜市立西本郷小学校
	横浜市立新橋小学校
	横浜市立伊勢山小学校
	横浜市立桂小学校
	横浜市立勝田小学校
	川崎市立川中島小学校
	川崎市立木月小学校
	L C A国際小学校
	相模原市立小山小学校
	相模原市立清新小学校
	相模原市立緑台小学校
	相模原市立谷口台小学校
	相模原市立大野台小学校
	横須賀市立衣笠小学校
	平塚市立みずほ小学校
	藤沢市立六会小学校
新潟県	日本大学藤沢小学校
	新潟市立東中野山小学校
	長岡市立黒条小学校
	糸魚川市立田沢小学校
富山県	上越市立板倉小学校
	小矢部市立蟹谷小学校

都道府県	学校名
北海道	札幌市立幌西小学校
	札幌市立宮の森小学校
	札幌市立栄西小学校
	札幌市立義務教育学校福移学園
	札幌市立山の手小学校
	札幌市立福井野小学校
	旭川市立北鎮小学校
	芦別市立上芦別小学校
青森県	名寄市立名寄西小学校
	青森市立泉川小学校
岩手県	花巻市立八重畑小学校
宮城県	聖ドミニコ学院小学校
	仙台市立桜丘小学校
	仙台市立福室小学校
山形県	山形市立千歳小学校
	酒田市立平田小学校
	天童市立天童中部小学校
栃木県	作新学院小学部
	真岡市立真岡小学校
群馬県	太田市立藪塚本町南小学校
	さいたま市立七里小学校
	さいたま市立海老沼小学校
	さいたま市立城北小学校
	星野学園小学校
	川口市立本町小学校
	川口市立青木中央小学校
	川口市立幸町小学校
	所沢市立所沢小学校
	狭山市立奥富小学校
	鴻巣市立赤見台第一小学校
	草加市立栄小学校
	戸田市立笹目小学校
埼玉県	朝霞市立朝霞第三小学校
	和光市立北原小学校
	桶川市立桶川西小学校
	富士見市立針ヶ谷小学校
千葉県	松戸市立東松戸小学校
	習志野市立屋敷小学校
	柏市立松葉第二小学校
	浦安市立浦安小学校
	長柄町立長柄小学校
東京都	墨田区立第三寺島小学校
	江東区立有明西学園
	世田谷区立砧南小学校

自然からの学びを、
よりよい未来づくりへ。
セディア財団はさまざまな活動を
展開しています。

人は自然とともに暮らし、自然から多くのことを
学んできました。しかし利便性や効率だけを優先
して突き進むわたしたちの社会は、便利になったけ
れど、その分、自然と接する場所がどんどん失われ
ている状況にあります。これはしあわせな状況なの
でしょうか？いつの時代も、自然は偉大な教師。
自然との共存なくして、しあわせな暮らしは成り立ち
ません。大切なのは、気づくことです。セディア財団
は気づきの場になることから始めます。すべての
生き物の命の源であり、すべてののはじまりである
「水」を中心に、自然の大切さ、自然からの学びの
尊さを発信し、学びの場となる活動を行っています。
「かべ新聞コンテスト」の開催もそのひとつ。かべ
新聞の制作を通して、子どもたちに“水の大切さ”
に気づいてほしいという願いを込めて実施していま
す。自然へ向きあう子どもたちの真摯な姿勢こそ、
たしかな未来づくりへの財産。自然からの学びを、
よりよい未来づくりへ活かすために、セディア財団は
さまざまな活動を展開しています。これからの
セディア財団に、どうぞご期待ください。



さあ、一緒に話しましょう。

水から学んだこと。自然から学んだこと。未来にとって大切なこと。

水の未来を。





公益財団法人 セディア財団

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館12F
TEL: 03-6478-1341 FAX: 050-3535-9408
<https://www.sedia-found.org>

〈お問い合わせ先〉

セディア財団 全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト運営事務局(株式会社プラスエム内)

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-17-6群成舎八丁堀ビル6階
TEL: 03(6222)5251 FAX: 03(6222)4823 E-mail: mizu-shinbun@plus-m.co.jp